

平成16年度 児童・生徒学習賞 表彰式

市川市の代表として各分野で活躍

2月18日(金)、平成16年度の児童・生徒学習賞の表彰式が市川市議会議場で行われました。この賞は、学校の教育活動において、県・関東・全国規模の大会等に参加し、最優秀賞、または、それに準ずる成績を収めた個人・団体に与えられるものです。

本年度は、個人16名、及び、15団体が受賞し、千葉光行市長から賞状と記念品が授与されました。

みなさん、おめでとうございます。



平成16年度 児童・生徒学習賞 受賞者・受賞団体

【個人】

山本あかね(中山小 2年) 川上 良太(第四中 2年)
富永 有美(中国分小 3年) 山下 貴之(第七中 3年)
加藤 惇(大町小 5年) 国原 典子(南行徳中 3年)
佐々木椋一(昭和学院小4年) 岡本さとみ(昭和学院中1年)
石井 嵩也(日出学園小4年) *菊間 夏美(昭和学院中2年)
永尾 薫(第二中 3年) *庄子 舞(昭和学院中1年)
藤城 采子(第二中 2年) 伊藤 瞳(福栄中 3年)
平林 和晃(第二中 1年) 佐藤 歩夢(下貝塚中 3年)

(*は2人で受賞)

【団体】

大柏小 吹奏楽部 塩浜中 サッカー部
新浜小 吹奏楽部 塩浜中男子バスケットボール部
富美浜小マーチングバンド部 大洲中 女子ハンドボール部
大野小 6年1組 南行徳中 合唱部
福栄小 新聞委員会 昭和学院中 ソフトテニス部
昭和学院小チア&バトンクラブ 昭和学院中 新体操部
第一中 男子バレーボール部 昭和学院中 バトン部
第六中 管弦楽部

教育 いちかわ

市川市教育委員会広報紙

■発行 市川市教育委員会
〒272-8501 市川市八幡1-1-1
TEL334-1111
■企画編集 市川市教育センター
〒272-0015 市川市鬼高1-1-4
TEL320-3335
FAX320-3352

学校版環境ISO認定10校に

1月21日(金)、市川市役所で学校版環境ISO認定式が行われました。

学校版環境ISOは、平成14年度に市川市が「ISO14001」の認定を取得したことを受け、平成15年度より学校での実施校を指定し、その活動に対して認定証を贈るものです。昨年度は、5校でしたが、本年度は、新たに5校が加わり10校となりました。各校とも、工夫をこらした「環境にやさしい活動」に取り組んできました。各校が報告書を作成するとともに、4校の児童・生徒が実践発表を行いました。

○菅野小学校：古紙や牛乳パックのリサイクル・ゴムベラを使った食器の汚れ落とし等を行います。また、教室からでたゴミ



ミの重量を測定し、減らすようにはたらきかけています。

○百合台小学校：アルミ缶の回収・町ピカ登校・春木川クリーンクリーン作戦・外国(サモア)とのゴミ問題の比較を行いました。学校での意識はとて高まってきました。

○信篤小学校：環境委員会が5色のISOレンジャーに変装し、水・電気・紙・給食・資源の5つについて啓発活動を行っています。高谷中との合同クリーン作戦も行っています。

○第二中学校：標語作り・ポスター作り・消灯活動・ゴミの分別・節電・紙の裏面使用等を行いながら、生徒・保護者・教職員用の実行プログラムを作成しています。

市川市全体に広げていけるようにご協力をお願いいたします。

《平成16年度 認定校》中山小・菅野小・信篤小・百合台小・稲越小・大和田小・福栄小・第一中・第二中・東国分中

平成17年1月26日 第4回市川市教育改革懇話会 これまでのまとめ

これまでの懇話会でいただいた意見を項目ごとに整理した原案を基に、各学校・園に向けて「提言」として発信するための話し合いを、次回と2回連続で行います。当日は、事前に配布させていただいた資料に基づいて協議が行われました。

宇田川 「学力実態状況調査」を3年間続ければ、各学校のレベルがある程度分かって良いと思います。

木田 資料②の『「確かな学力」の定着を、どのように評価するのか明確にする』というのは、何のことか分かりません。『「確かな学力」の定着を評価する』という表現が良いのではないですか。

高階 日本の子どもたちは、読解力や数学の応用力が低下してきているというデータが出ています。地域活用力を高めるような文言を入れる必要があると思います。

木田 少人数指導で子どもの持っている能力を発揮させるためには、どのようなことに気をつければ良いのか。このことは、大事なポイントになると思います。

大町 習熟度別指導を行って、どの子どもにとっても満足する授業であってほしいと思います。その際、保護者や子どもとコミュニケーションを十分にとっていただければと思います。

小玉 競争社会では9割が負けます。負けても再チャレンジすることが大切です。成功体験というのは非常に良いのですが、失敗の体験をクリアできるようにすることが重要だと思います。

高階 私の方で、もう一つ入れてほしいことがあります。各学校それぞれが「学校の学力向上対策について組織マネジメントを強化する」ということです。



大町 職場体験は、中学校に入って突然行くと子どもたちが戸惑うと思うので、小学校から積み重ねていく必要があると思います。

山崎 「勤労観・職業観」については、子どもたちが、自分で将来のことを描けるような手だてをしてほしいと思います。

小玉 できれば、どこかにリーダーシップの重要性みたいなものを入れてほしいと思います。学校教育の中では学力をつけることと、社会生活におけるリーダーシップが重要です。

伊与久 提言としては、網羅されているのではないかと思います。「週5日制の意義の共有化」ということについて、どこかに入れてほしいと思います。

宇田川 良書を推薦することは私も賛成です。本の名前とポイントみたいなものを10行くらいで紹介すると、興味を持って読むようになるのではないかと思います。

山崎 「多様な体験活動のより一層の充実を図る」とありますが、社会人や学生などの地域の教育力を活用するというを入れていただけたらと思います。

伊与久 提言の文言は問題ないと思いますから、解説の中に、今の話し合いで出されたことを少し入れていくということでしょうか。

教育改革懇話会委員 (敬称略)

会 長	高階 玲治	委 員	木田 宏
副会長	大町 信子	委 員	古賀 正一
委 員	井上 俊彦	委 員	小玉 敏彦
委 員	伊与久剛史	委 員	徳丸 順子
委 員	宇田川 進	委 員	山崎 良雄

平成16年度 教育実践記録論文 表彰式・発表会

2編の論文が最優秀賞に

「篠笛から広がる
日本伝統文化の心を追い求めて」
～6年生の総合学習との関連を通して～
市川市立市川小学校 教諭 高山禮子

【要旨】この教育実践記録論文は、市川小学校での平成15・16年度の2年間における6年生の音楽科教育の取り組みです。年間の授業時数(50時間)に学年の総合のテーマを関連させ、日本伝統文化を音楽の立場から追い求めていきました。低学年から行っている、わらべ歌からの広がりを感じさせながら、6年生では、本格的に日本音楽と向き合う一つの手段として、和楽器(篠笛)に焦点をあてました。一人ひとりの体験を重視し、常に本物の素晴らしさを味わいながら「和の心」を追求した活動です。



平成16年度 教育実践記録論文 受賞一覧

《最優秀賞》

○高山禮子(市川小)

「篠笛から広がる日本伝統文化の心を追い求めて」～6年生の総合学習との関連を通して～

○野口敏樹(真間小)

「豊かな社会性を育てる総合的な学習の時間」～地域でのお手伝い体験活動を通して～

《優秀賞》

○蓮尾剛史 富永香羊子 沼田宏 石渡博尚(平田小)

「開かれた学校(みえる・わかる・かんじる)の実現」

～これが、平田小! 見て楽しいホームページをめざして～

○五十嵐ふみ代(第七中)

「司書教諭を中心とした学校図書館の経営」～学校教育を支える学校図書館構築のために～

「豊かな社会性を育てる
総合的な学習の時間」
～地域でのお手伝い体験活動を通して～
市川市立真間小学校 教諭 野口敏樹

【要旨】この教育実践記録論文は、「豊かな社会性」を育てるために、総合的な学習の時間でどのような活動ができるかを構想し、実施した結果をまとめたものです。豊かな社会性は、「人とのかかわりを重視した直接的な社会体験活動」を核として、児童が①願いや思いを持って、②集団活動の中で、③自分の役割を果たしながら、④リアルティのある問題解決活動をしていくことで、少しずつ醸成されていくものだと考えました。子どもたちは、お手伝い会社を設立し、地域への広報活動を行い、創意工夫しながらお手伝いをしました。



○小野達也(第七中)

「親子で分かり合えたら『親の愛情』」

～保護者の協力を活かした道徳の実践記録～

《優良賞》

○竹中照久(新井小)

「毛筆学習の充実をめざして」

～自らの課題を見つけ、課題を追求する毛筆学習～

○長崎 誠(第四中)

「理科好きな生徒の育成を目指して」

○中村賀津子(第七中)

「外国人生徒への教科学習支援」

～わかりやすい日本語で教える試み～

○佐久田忠彦(東国分中)

「デジタル教材を使った授業実践を通して生徒の意欲が向上するか」

「こんなにできちゃったよ。すごいね。」地域の先生が励まします。苦労してプリントに取り組んでいた子がうれしそうな顔をします。

北方小学校1階の学習室ではこんな光景を昨年7月から見ることができます。



同校では平成16・17年度の2年間文部科学省の学力向上支援事業の指定を受けました。

これまで、子どもたちは8月を除く毎週の月・水・金曜日の放課後に、自由参加でやりたい教材を持ち寄って学習を進めてきました。主な教材は、算数などのドリルや用意されたプリントです。

支援員の方は地域の方や教員志望の学生たちで、17名の登録があります。メンバーは、交代で学習室に訪れ、子どもたちに学習のヒントを出したり、答え合わせをしたりします。みんなと一緒に勉強するので励まし合いながら進めることができます。

算数を中心とした自主学習から始まった学習会ですが、子どもたちや保護者へのアンケートの要望などをもとに改善しながら運営されています。

2月からは、放課後も忙しくてなかなか参加する時間を持ってない高学年のために、授業時間にT Tで参加する学習支援も始まりました。

子どもの実態に合わせて、学習の輪が確実に広がっています。

ビデオで紹介・私たちの調べた千葉県 真間小

社会科と総合的な学習で千葉県を学習してきた4年生は、調べたことをまとめる表現活動で、自分たちの目線で見た千葉県をビデオにまとめて、みんなに伝えたいという思いが強くなりました。

番組の名前は「われら千葉っ子『もの知り大百科』」に決まり、初めての番組作りなので、映像文化センターの方に支援をいただくことにしました。映像を伝える専門家のアドバイスで、千葉県の何を、誰に、どのように伝えたいのか、子どもたちの考えが明確になっていきました。見た人に喜ばれるためには、「相手の視点で番組を作る」「ビデオは映像を通したコミュニケーションと考える」ことが大切だと教わりました。



全員の調べた内容(自然・郷土芸能・民話・郷土料理等)を紹介するため、番組は「子どもたちが図書室に行き本を見ているうちに、本の中に入り込んでしまい、たくさんのことを知っていく」という設定となりました。子どもらしい自由な発想に映像文化センターの方も感心しました。最後には千葉県歌を全員で歌い、番組を締めくくります。

ディレクターや撮影班、ナレーションなどを決め、本格的な活動になりました。子どもたちの思いがたくさんつまったビデオは、次の4年生にも活用されることでしょう。

第三中「心を育てる」全校道徳 地域の方と共に教育の共有化をめざして

第三中学校家庭教育学級が「相田みつをギャラリー」を訪れ、伊藤良男氏の話聞きしました。感銘を受け、ぜひ、子どもたちにも聞かせてあげたいという思いを学校に伝えました。そして、保護者・学校評議員・民生委員・コミュニティサポート委員等、約90名の地域の方が協力し、1月31日に全校道徳を実施いたしました。

第一部は、体育館で伊藤良男氏の講演会が行われました。「相田みつをさんの詩」「食べ物大切にしているアジアの子どもたち」「目が不自由になって感じた人の温かさ」「レストランで触れた気配り・温かさ」など心温まる話をたくさんしてくださいました。



地域の方と真剣に討論

第二部は、教室にもどり、生活班に一人ずつ地域の方が入り、意見交換を行いました。講演会の感想の他に、「将来のこと」「親子のつながり」「興味のあること」等が話題になっていた班もあり、活発な討論会が行われました。

大人の考えを聞いたり、自分の意見を発表したりすることで、心の視野が広がったことでしょう。そして、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの心にまいた種が、大きく成長していくことを期待したいと思います。

ひろげよう自主学習の輪 北方小

学校図書館を活用した授業研究に組み込む

平成16年度から、教育センターでは、市内の先生方による「学校図書館活用研究会」を立ち上げ、子どもたちの豊かな心と意欲的・自主的に学ぶ力を育むため、学校図書館を活用した学習のあり方について実践的な研究を進めています。

小学校10名、中学校4名の先生方が研究員となって話し合いを進め、11月からは7回の授業公開を行ってきました。国語・社会・総合の授業や、小学生と中学生の交流授

業など多彩な内容で行われました。また、所属している学校の先生方も授業づくりに参加し、子どもたちに力をつけさせる学習のあり方について、意見交換する場面もありました。

小学校でも中学校でも、自分たちの課題を追求するため熱心に調べたり、真剣に話し合ったりする子どもたちの姿が印象的でした。学校図書館や教室には「図書館ネットワーク事業」で集められた他校や公共図書館の図書が豊富に用意され、子どもたちの学習意欲を高めていました。



《真間小 6年生》総合的な学習
「世界の中のぼくたち、わたしたち」



《第三中 2年生》社会科
「ヨーロッパ人との出会いと全国統一」



《富貴島小 5年生》国語科
「わたしのみずぎ世界を求めて」



《第三中 2年生
富貴島小 5年生》交流学习
「みずさがしの旅」
～みんなちがって
みんないい～



《宮田小 4年生》発展読書活動
「ごんぎつね」



《稲越小 5年生》総合的な学習
「お米をもっと食べてもらおう」



《鬼高小 6年生》国語科
「人類よ宇宙人になれ」

平成16年度 実践研究

知っていますか？ コミュニティクラブ事業

平成16年度より、ナーチャリングコミュニティ事業を継承し、更に子どもたちのための活動となるよう発展を図ります。

目的

コミュニティクラブ事業は「みんなで子どもたちを、みんなでボランティア」を合い言葉に、「あそび」を通して、子どもたちを育てていこうとするものです。

市内16ブロック(中学校区)にあるボランティア組織が中心となっています。ボランティアの方は、地域でいろいろなことに関わっている方がほとんどです。そして、地域で活動する諸団体の協力を得ながら、各学校区で繰り広げられる遊び(活動)を通して、次の3つの目的達成を目指しています。

①健全育成

子どもたちの健やかな成長を願いみんなで支えていきます。

②コミュニティづくり

人と人との交流を通して、子どもたちの成長を支える地域社会を作っていきます。

③生涯学習社会の創造

身近な地域で、子どもから大人まで共に活動できる場と機会を創っていきます。

活動

行われている活動には、どのようなものがあるのでしょうか。活動の一部を紹介します。

活動の種類

◎文化・スポーツ等のいろいろな継続活動
囲碁教室、将棋教室、工作教室、ミュージックベル、スポーツ教室、釣り教室、クッキング教室 等

◎イベント型活動(年に数回:自然の中での活動、フェスティバル 等
ハイキング、キャンプ、ウォークラリー、天体観察、凧あげ、書き初め、海辺遊び、フェスティバル(協力も含む)

◎自由遊びの場

わんぱく広場、遊遊ひろば、あそびルーム、あそびの広場 等
※ 集まった友だち同士で遊ぶ内容を考えて活動する場です。第1・第3土曜日、第2・第4土曜日など、いくつかの学校の校庭、体育館、図工室等で行われています。

活動場所

小学校、中学校、公民館などの施設や身近な自然を活かした場所で活動しています。

参加の資格

市内の子どもたちなら、どのブロックの活動にでも参加できます。参加したい活動があったら、どんどん参加してください。活動対象は、小中学生が中心ですが、活動によっては多少変わります。参加方法は現地集合が多いのですが、申し込みが必要だったり、参加費(実費)が、かかったりすることがあります。詳しくは「遊びの情報」をご覧ください。

コミュニティクラブの情報

下記の方法で知ることができます。

◎「遊びの情報」 各学校・各学級・各公民館等に毎月掲示されます。

◎「WEBサイト」 市川市のホームページ→市川市教育委員会→コミュニティクラブ→遊びの情報

その他

◎各ブロックに配られるちらし等



べいごま等に挑戦

◎ こどもたちのために各コミュニティサポート

子どもたちのために ～地域と学校が手を携えて～

2月3日(木) 平成16年度 第3回コミュニティサポート推進委員会を開催

生涯学習センターにおいて、コミュニティサポート推進委員会が、地域・学校・行政等の参加者171名を集め開催されました。今回は「コミュニティサポートだよりの発行」についての発表と、「コミュニティサポート委員会の運営」のパネルディスカッションが行われました。

(1) 広報活動について

菅野小学校区コミュニティサポート委員会

副委員長 内盛 渉 氏

地域や学校の情報を収集して「たより」を発行

菅野小学校区では昨年度より現在まで、通巻8号のコミュニティサポートだよりを発行しています。「たよりを見た子どもや大人が活動に参加してほしい」という思いを込めて、役立つ情報を満載し発行しています。

作成に当たっては、事前に各団体に依頼し、委員会の場では、情報の集約と確認が効率よく行われるように工夫しています。

子どもたちのための活動情報を広く地域に発信

「コミュニティサポートだより」は、学校の児童・保護者だけでなく、自治会の協力を得て全戸回覧・配布を行い、また地域の幼稚園への配布も行っています。更に「コミサポ情報ネット」(教育委員会ホームページ内)も随時更新し、情報の発信を市内にも広く行っています。

各学校区コミュニティサポート委員会でも推進を

発表された内盛副委員長は、「載せた情報が生かされ、子どもたちがいろいろな活動できる機会が増えればいい。また、子どもたちだけのためではなく、いろいろな可能性が広がる。」

と話されていました。

他のコミュニティサポート委員会でも、ぜひ子どもたちのために、子どもたちの活動や様子の情報発信を進めていただきたいと改めて感じるような発表でした。

(2) コミュニティサポート委員会の運営 パネルディスカッション

パネラー: 稲荷木小学校区コミュニティサポート委員会

事務局長 田中正淳 氏

鬼高小学校区コミュニティサポート委員会

委員長 竹下 学 氏

第六中学校区コミュニティサポート委員会

委員長 山田龍太郎 氏

コーディネーター: 第三中学校

教 頭 大嶋章一 氏

子どもたちへの思い、地域・学校への思いが語られた

4名の方によるパネルディスカッションが行われ、各学校区コミュニティサポート委員会の今年度の取り組み及び成果や課題、地域の方々の学校への関心や協力体制、子どもたちの安全、中学校区コミュニティサポート委員会の取り組み等、子どもたちを中心において、話し合いが熱心に行われました。

子どもたちのために学校・家庭・地域が手を携えて
短い時間でしたが充実した内容となりました。最後にコーディネーターの大嶋章一氏が

ら、「それぞれ特色があり、いろいろな取り組みがある。子どもの実態、地域の実情、参加されている方の思いや願いを集約しながら、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの健全育成、子どもたちのためのコミュニティづくり、生涯学習社会の創造ということに目を向けていただきたい。」とのお話がありました。

参加された方の感想として

・他の学校区の熱心な取り組みが聞けてよかった。

・大変充実した内容だった。子どもたちのために、ぜひ生かしていきたい。

・子どもたちのためにコミュニティサポート委員会をさらに活かしていきたい。

など、今後の参考にしたいという感想が多くありました。

来年度も子どもたちのために、各学校区で学校・家庭・地域の連携がより深まり活発な活動が展開されますよう、ご協力お願いいたします。

第5回 縄文体験フェスティバル

3月27日(日) 10:00～15:00 堀之内貝塚公園・考古博物館・歴史博物館広場

国史跡の堀之内貝塚と考古・歴史博物館があるという地域的な特性を活かし、子どもから大人まで、すべての人々が気軽に参加して楽しめる、新しい地域まつりを開催します。縄文人の生活を追体験できるコーナーやちょっと昔の遊び・フリーマーケット・模擬店など、楽しい企画が盛り沢山用意されています。春の一日をタイムスリップしながら楽しんではいかがでしょうか。

(申し込み・参加費は不要です。)

【問い合わせ】考古博物館 TEL 373-2202

平成17年度いちかわ市民アカデミー講座のご案内

平成17年度に3年目を迎える「いちかわ市民アカデミー講座」は、市内にある昭和学院短期大学・千葉商科大学・和洋女子大学の協力を得て、開講しております。平成17年度も、受講生を募集いたしますので、多数のご応募をお待ちしております。

目 的 各大学の持つ専門的かつ高度な機能や施設と恵まれた環境の中で新しい知識を取得し、広く仲間づくりを図るとともに、学習の成果を地域活動の中に生かしていただきます。

講座内容 各大学ごとにテーマを設定し、それに基づき年間10回の講座を通して学びます。各大学の専門分野を中心に、実生活に即した身近な問題や、市川に関わりのあるものになる予定です。

募集について 募集は、4月中旬から5月中旬までの期間で行う予定です。「広報いちかわ」や市のホームページでも、ご案内いたします。【問い合わせ】生涯学習振興課 334-1111(代)

市川市中国分スポーツ広場

じゅん菜池近くの中国分4丁目25番地に整備中の「市川市中国分スポーツ広場」が、いよいよオープンいたします。

本市で初めて人工芝を敷設して、少年サッカーを中心にフットサルやゲートボール、グランドゴルフなど多目的に利用できるよう整備したものです。3月26日(土)には、同広場にてオープニングセレモニーを行います。

交 通 JR市川駅北口より京成バス国分操場行き 商大附属高校前下車 徒歩3分

開場時間 午前9時～午後9時

但し月曜日(最終月曜以外)と休日の翌日は午後5時まで

休 場 日 最終月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

利用方法 3月1日(火)より市川市スポーツセンターで受付開始

使用料 市内一般 全面 2,100円、半面 1,050円

高校生・大学生 全面 1,050円、半面 520円

中学生以下は無料 ※使用料は2時間当たり

夜間照明 全面 1,050円、半面 520円

中学生以下は無料 ※1時間当たり

【問い合わせ】スポーツ振興課 TEL 373-3111 (市川市スポーツセンター 内)

自然博物館 散策会

市内の自然が豊かな場所を気軽に散策します。

1 テー マ 真間川散歩

2 日 時 3月20日(日) 午前

3 場 所 真間川周辺

4 集合場所 お問い合わせください。

※ 天候不良の場合は中止です。

【問い合わせ】自然博物館 TEL 339-0477